

子供の不安をやわらげるためにできること

子供の成績表を見るとき・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

今年は新型コロナウイルスによる影響で、通知表の配布は、これからになるかと思えます。保護者の皆様にとっても気になる通知表。これを見るとき的心得を書きました。

★マイナス発言に気をつける

「なぜできないの!」「本当に算数がダメね!」等、言いたくなるかと思いますが、その言葉はぐっと飲みこんでください。例えば、何度も「算数がダメ」と言われると子供の意識の中に「僕は算数が苦手な人間だ」という思いが定着していきます。結果、算数への苦手意識が高まり、算数の勉強から逃げたり、勉強しても身につけにくくなったりしてしまいます。

★その比較は必要なものですか？

「お兄ちゃんは・・・」「隣の〇〇さんは・・・」等、人と比べてしまう気持ちが芽生える時があるかもしれません。本人を奮起させるための比較なのかもしれませんが、子供には「人は人、自分は自分」というプライドが育っていますので、その様な比較をされても子供の心には「何で?」という反発心しか残りません。中学生くらいになると「〇〇さんと比べることで、親が相手の親に自慢したいだけじゃん!」とうがった考えをもったりするかもしれません。

★子供に考えさせて課題を上手に見つけよう

以前より成績が下がった時「ほら、勉強が足りないからでしょ!」等、親の主観で発言せず、「どうして、成績が下がったのかな?原因分かる?」と聞いてみて下さい。小学校高学年くらいから、各教科に専門的な内容が増えてきます。同じ理科でも化学だったり生物だったり違う内容を学習します。もしかしたら成績が下がった原因は特定の分野の苦手かもしれません。子供が、成績が下がった理由に気がつけば「じゃあ、次はその分野を他よりも多く勉強すると良いかもね」とアドバイスができます。

★評価の高いところを褒める

先生方は通知表に子供の良いところを必ず書いています。そこを見つけて子供を褒めて下さい。褒められることで、子供は自分の得意や良い部分を認識し、その部分に自信をもつようになります。自信をもてば、その力を伸ばそうと努力するようになり、その子自身の強みにつながっていきます。



お子様の心の变化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)